

第 4 回 杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会

会 議 名	第 4 回 杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和 7 年 7 月 31 日（木）午前 10 時 00 分～11 時 56 分
場 所	天沼中学校 視聴覚室
出 席 者	懇談会委員 18 名（欠席 3 名）
傍 聴 者	1 名
次 第	1 今後の進め方（予定）について 2 計画地の概要について 3 防災機能強化について 4 改築基本方針（たたき台）からの修正について
資 料	資料 1 今後の進め方（予定） 資料 2 計画地の概要 資料 3 防災機能強化について 資料 4 天沼中学校校舎改築基本方針（修正案）

進行役	時間となりましたので、それでは、第 4 回天沼中学校校舎改築検討懇談会を始めさせていただきたいと思います。 まず初めに、事務局から事務連絡はございますか。
教育施設計画 推進担当係長	皆さん、こんにちは。開会に先立ちまして、事務局から 1 点ご報告させていただきます。 天沼中学校 P T A から懇談会に参加いただいております委員から、ご都合でご退任されるということでご連絡がありました。そのことに伴いまして、改めて天沼中学校の P T A から後任の方を新たにご推薦いただくこととなりました。 後任の方には次回 9 月 2 日の第 5 回からご参加いただく予定であります。次回、改めてご紹介したいと思いますので、よろしくお願いいたします。 事務局からは以上でございます。
進行役	それでは、天沼中学校校舎改築検討懇談会を始めたいと思います。 委員の皆様におかれましては、ご多用のところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

	本日は、3名の委員からご欠席という連絡を頂いています。また、1名の委員から、所要のため30分ほど遅刻するという連絡を頂いておりますので、よろしくお願いいたします。 今回の懇談会では、後半にワークショップを予定しておりますので、座席の配置がロの字ではなく、4つのグループに分かれてお座りいただいております。 今日は正午閉会ということで予定しておりますので、円滑な進行にご協力のほど、よろしくお願いいたします。 それでは、配付資料の確認を事務局からお願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	本日の配付資料でございますけれども、事前にお配りした資料が5枚あります。本日の次第と、資料1「今後の進め方（予定）」というA4横の資料です。あと、資料2「計画地の概要」、これが大きいA3横のサイズでZ折りになっているものです。それと、資料3「防災機能の強化」ということで、A4縦のものでございます。あと資料4としまして、「天沼中学校校舎改築基本方針（修正案）」のA3横、Z折りになっているものを事前に送らせていただいております。 次に、席上に配付した資料でございますけれども、本日の席次表と、ワークショップの進行表、ご感想シート、それと委員から、防災機能の強化について補足資料、以上4点を席上にお配りしております。 不足等ありますでしょうか。 ないようですので、こちらを使って進めていただきたいと思います。 以上でございます。
進行役	ありがとうございます。それでは、次第の1番「今後の進め方（予定）」について、事務局からご説明お願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	それでは、資料1を御覧いただきたいと思います。 今後の懇談会ですけれども、次回の懇談会で改築基本方針の案を決定したいと考えてございます。その後、配置計画案を3回議論する予定です。その後、平面計画を3回議論しまして、決定していくというふうに考えてございます。 懇談会では、改築基本方針案や配置計画案、平面計画案を決めていくわけですが、決定前に「改築ニュース」、先日創刊号を配布しましたけれども、そちらを発行しまして、学校関係者や近隣等に配布しまして、懇談会以外の皆様からの意見も考慮できるようにしていきたいと思っております。 また、10月から11月ぐらいの時期にオープンハウスを開催いたしま

	して、配置計画案について説明する機会を設けたいと思っております。 その後、平面計画案につきましては、2月に改築ニュースで周知をし、意見があれば必要な調整を図ったのち、基本計画まとめ案ということで最終的に懇談会としての案ということで決定していきたいと思っております。 懇談会といたしましては、基本計画まとめ案をまとめて、そこまでで一旦終了ということになっております。その後については、「改築ニュース」で周知するとともに、4月以降に住民説明会等を開きまして、また皆様からご意見を頂くという流れになっております。 来年度につきましては実施設計に進んでまいりますので、より具体的な設計、あと、そこに対する近隣等からのご意見というのが出てくるかと思います。 懇談会の各回の進め方でございますけれども、配置計画を3回やる中で、例えば第1回では事業者から計画案を4案ほどご提示いただく予定になっております。そちらの長所、短所等を比較検討しまして、少しずつ案を絞って、最終的には1案に絞るというふうにしております。 全3回で決めていきますので、第1回目でどこまで、第2回目でどこまでというのは現時点では分からない部分がありますので、都度判断していきたいと思っております。 平面計画についても同様の考えで進めていきたいと思っております。進め方につきましては以上でございます。
進行役	ありがとうございます。ただいまの「今後の進め方（予定）」について」の事務局からの説明について、何かご質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。 では、続きまして、次第2の「計画地の概要」について、相和技術研究所さんからご説明をお願いいたします。
設計事務所	皆さん、こんにちは。ただいまから「計画地の概要」につきまして説明をさせていただきます。 設計を担当させていただきます、相和技術研究所と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 資料2を御覧ください。①「周辺環境」の説明をいたします。 左上に上空写真がございます。赤で囲った部分が天沼中学校の敷地範囲になります。黄色の矢印がございますが、こちらは対面通行の道路を示しておりまして、水色の矢印が一方通行の道路を示しております。 学校周辺につきましては、戸建ての住宅が多い住宅地となっております。

す。

中学校の敷地につきましては、南側と北側、また東側が道路と接しておりまして、幅員につきましては最小で 3.45 メートル、最大で 6 メートルと、道路環境としては少し狭小な道路が周辺の環境となっております。

続きまして、②「用途地域・地区等」の説明をいたします。左下になります。

用途地域は第一種低層住居専用地域となっております、建蔽率、容積率がそれぞれ 50%、100%となります。

準防火地域でございまして、10 メートルという高さ制限がございます。

また、第一種高度地区がかかっておりまして、それから日影規制がかかりまして、冬至日において、敷地の境界から 5 メートル、10 メートルの範囲でそれぞれ地盤面から 1.5 メートルの高さで 3 時間、2 時間以内の日影に収めるという規制がかかっております。

その右側です。③「既存施設の概要」を説明いたします。

既存建物は、北側に 4 階建ての管理教室棟、西側に 2 階建ての特別教室棟、東側に体育館、南側にプール、またテニスコートで、運動場を囲む形の配置となっております。

敷地面積が 1 万 1,601 平方メートル、校舎面積は 5,712 平方メートル、体育館 834 平方メートル、運動場面積はおよそ 4,000 平方メートルとなっております。

その右側です。④「既存建物日影」について説明いたします。

用途地域の説明で、計画敷地には日影規制がかかるということでご説明しておりますけれども、境界線から 5 メートルの青のライン、それから 10 メートルの赤のラインをそれぞれ 3 時間、2 時間のラインがあります。既存の建物につきましては、現在、このラインを越えている形で現状はなっております。改築後の建物は規制の範囲内で計画することとなります。

続きまして、⑤「建築可能範囲の検討」について説明いたします。

用途地域が第一種住居専用地域になりますので、原則高さ制限が 10 メートルまでと決められております。ただし、周辺の住居の環境を害するおそれがないという場合は認定制度がございまして、高さ 10 メートルを超えて建設が可能という制度がありまして、今回はこの制度を利用して、およそ 12 メートルぐらいの高さまで建物の高さをできるように

	検討しております。 認定基準には東西南北の方位別の斜線制限、また、歩道状空地の設置、そして外壁の後退距離の制限などの基準があります。これを図に示しております。 オレンジの部分は建物の建設ができない範囲になっております。黄色は一定の条件で建設が可能な範囲、そしてその内側に緑のラインがございますけれども、こちらが高さ 12 メートル、建物でいいますとおよそ 3 階建てまでの建設が可能な範囲となっております、改築校舎につきましてはこの範囲内で検討するという形で現在進めております。 以上、簡単ではございますが、「計画地の概要」についての説明とさせていただきます。ありがとうございました。
進行役	ありがとうございました。ただいまのご説明にご質問がある方はいらっしゃいますでしょうか。 委員、お願いします。
委員	説明ありがとうございます。既存建物の管理教室棟は 4 階建てだと思うのですが、これは現状 12 メートルに収まっているのですか。
設計事務所	現在は超えておりまして、ただ、その当時の建築基準法の決まりの中では適法であったと思われます。その後の改正等で現在は不適格という状態になっていると考えられます。
委員	そうすると、新しい建物は 3 階までしかつくれないと。
設計事務所	現在は、認定基準の中では 3 階建てになるかと思います。
委員	承知しました。ありがとうございました。
進行役	そのほかはございますでしょうか。よろしいですか。 それでは、続いて次第の 3 番「防災機能の強化」について、委員からご説明をお願いいたします。
委員	貴重な時間を頂きましてありがとうございます。 先ほどお手元に資料を加えさせていただいておりますけれども、本日全てをしゃべる時間がございませんので、補足としまして、資金面、補助金であるとか、助成制度であるとか、実施事例といったご参考になる資料のほうは本日は説明を割愛させていただきます。この補足資料のほうは、後で学校整備課さんにもデータでお返しをいたしますので、これに関する質問等がもしありましたら、ご質問の時間を少し頂けるようでしたら、そのときにもご説明できたらと思います。 それでは手短に、3 つに分けてお話をさせていただきたいと思います。

まず、「受援対策」ということですが、井草拠点とか原っぱ公園といった防災拠点からの緊急の支援車両、給水車とか電源車が来るとしたら、一旦、日大二高通りへ出ると思われます。ですので、緊急車両が日大二高通りから直進してアクセス可能にするということが非常に大事なかなと思っておりますので、ここを、もちろん正門にするとかしなないとかは別ですが、門をつくっておくこと。これが、正門にしない場合は開かずの門で結構ですが、門を築いてアクセス可能にしておくということが防災上は非常に重要なかなと考えております。

それから２番目「調理室の防災機能強化」ということでございます。

ここにいろいろ並べていますように、栄養バランスの偏りですとか生鮮不足など、避難生活では食の問題が非常に大きいです。この杉並区の特徴であります、学校の調理室を被災後も調理可能にしておくことが非常に有効であると考えます。

都市ガスが止まってしまった場合、ＬＰガスへの切り替えというのを当初考えていたのですが、手続や、複雑で面倒ですが、調べてみしたら、この頃、都市ガスではなく最初からＬＰガスにする、特にバルクシステムというものの導入が全国的に増えてきていることが分かりました。

バルクというのはドラム缶の親分みたいな感じのタンクでして、これが地震にも強いのです。それで、このシステムというのを導入するところが増えてきています。

「ＧＨＰ（ガスヒートポンプ）」と書いてありますが、これはガスによる空調です。冷暖房などを行います。そうすると消費電力も大幅カットできる仕組みになっておりまして、学校ですとか、消防署や、あと役所の建物などで実施が始まっています。これをお勧めしたいと思えます。

３番目は、避難施設としての防災機能強化ですが、２つありまして、１つは電力の確保です。これも必須でございます。

どのぐらい使うのかという目安として大体出してみたものが、照明、冷暖房、携帯の充電といったようなこと、あと簡単な調理、これも結構行うのですけれども、こういったことを行うためには１日当たり 20 から 25 キロワットアワー程度の電力量が必要というのが目安として算出されます。これを賄うためには、太陽光パネルと蓄電池の組合せで実現を考えることになります。

太陽光パネルは 7 から 8 キロワットの出力。太陽光ですと、不安定で

足りない部分がございますので、蓄電池を組合せます。最低でも 15 キロワットアワー以上の蓄電池の組合せをしますと、安定的でかつ実用的な避難所運営が可能となってまいります。

それから、生活水の確保という点でございますが、これは、災害時に大量の水を保有しているということが防災上非常に重要な要素であります。過去も、阪神・淡路の頃からですが、実際に学校でプールの水を使ったという例はございます。ただし、屋外プールの水というのは、季節によっては緑色に濁ってしまってなかなか使えないわけです。ですので、屋内プールとして一年中使えるようにして、ということで考えましたのが、私が作図しておりますけれども、体育館を総合施設にして、雨水、プールの水を活用し、平時は地域に開かれた施設にして利用する。

これには中水システムを導入いたします。中水というのは、上水（飲料水）と下水の中間に位置する再利用水のことですが、雨水を使ったトイレとか、そういうのは実際にほかの学校でもやっているところがありまして、実施されてはいますが、これを総合的にやっているというのが新しい考え方でございます。

この図になりますと、一番上、屋上屋内プールとしまして、これのいいところは、窓を開けて、それで泳ぐこともできると。雨水とプールの水を中水装置で処理して、シャワーやトイレに利用いたします。そして、私の案ですと 2 階に体育館や、スタジオといったものの希望もありますので、配置をしてみました。

1 階は、平常時はオープンスペースとして、ここに動く壁、可動パーティションのような壁を使って仕切ると集会室をつくったりというような、いろいろな活用ができると思います。そして災害時は避難所にする。

そして仕方がないのですが、地下を備蓄倉庫として考えました。できればこの備蓄倉庫に加えて、トイレの汚水を溜める貯留槽をつくりますと、トイレ問題もとても大きいので、一助になるかなと考えております。学校のトイレの汚水をつなぐということも可能でございます。

この発電設備でありますとか、お話ししてきました調理室や複合体育施設、こういったものの利点でございますが、まず、電力は売ることができます。資料にございますが、全て賄って、売電をして、売って、学校経営に役立てているような学校もございます。

それから、バルクシステムの場合は何といたっても電力の大幅カットということがあります。中水システムの場合ですけれども、上水の使用料

	を大幅に減らせて、水道料金の削減になります。それから、水資源の有効活用ですとか、環境負荷の軽減といった利点もございます。 平時は教育、それから貢献するのは健康に貢献します。非常時は命を守る設備として、地域にとって大きな価値を持つものになるのではないかと考えております。 説明は以上になります。ご質問等がありましたら頂戴できたらと思います。
進行役	ありがとうございます。それでは、ただいまの説明についてご質問があれば。 委員、お願いします。
委員	これは 10 メートルで済むのですか。
委員	済まない場合は 3 階を 2 階にするしかないのかなと思います。
委員	体育館は結構高いですね。これは多分無理だと思います。
委員	その場合は仕方がないかなと思います。可能であればこの構造だといひかなと考えております。
進行役	ここはあくまでも私案の部分でしかないので、実際に建築基準法にのっとって設計事務所がどう設計するかというところと。ただ、あくまでも今、たたき台として委員から出されているものとしては、こういうふうな形が利用できていくと、非常にこの地域の避難所機能としても有効ですよというご提案ということで捉えていただければと思います。 それでは、委員お願いします。
委員	高さ制限のことがあるので、これは専門家さんにその辺は委ねていくしかないと思っております。でも、委員からのご提案というのは、私、せっかく建て替えるのだったらこれからの未来の学校として、防災拠点として地域に役立つ、社会に開かれたというこの 2 つのテーマを併せ持った上でも、この防災拠点となっていくというのはすごく重要なことだと思います。 ご説明を聞いてとても分かりやすかったのですが、水に関しても電力に関してもガスエネルギーに関しても、きちっとお調べいただいでいて、なおかつ低コストでできるようにご提案いただいているので、ぜひプロの設計の方たちにその辺のご検討をいただいで、杉並はいろいろな形で新しい新校舎を建てていますが、荻窪駅から一番近い公共の中学校として、こここのところ、いっぱいいろいろなことが起こっていますけれども、万が一のときにみんなが助かる拠点になっていくという考え方は最重要ではないかと思ひます。私からは以上です。

進行役	ありがとうございます。 委員お願いします。
委員	日大二高から直通に緊急車両が入れるというのは私もすごく大賛成です。今、南門がありますよね。でもあそこは、日大二高から緊急車両は入れないですよね。東門に入る場合は入りますよね。その場合は、建っている家をどうこうはできないではないですか。
進行役	南門はつながっていないのですけれども、ただ、あそこのセブーンイレブンの横からは、道幅が広がったので、テニスコートのところをぶち抜けば基本的には入れるような形にはなってきていますというところではある。委員からのご提案としては、あそこの部分はぜひ空けておくべきだというご意見というところで頂戴しているというところではあります。
委員	そうしてください。
委員	ありがとうございます。必ず正門でなくても、あそこを切っておくというのが非常に大事でして、緊急車両が日大二高にまず出るはずなんです。そこからのアクセスを考えたほうがいいと思っております。
進行役	すみません、司会なのですけれども、委員に聞きたいなと思ったのが、環八からのアクセス、要は二方面アクセスみたいなことは考えておく必要はあるのですかというのはどうですか。
委員	とにかく緊急時は広い道を通るしかなく、住宅地の中を通るとか突っ切るということはまず考えられないので、大きい道を通って、いずれにしろ天中に接近するには一旦日大二高通りに入る以外にないと考えます。
進行役	ありがとうございます。 では、事務局からお願いします。
教育施設計画推進担当係長	今日は防災課の職員も来ておりますので、現在杉並区で取り組んでいる部分ですとか、この中で実現できている部分等々、お話ししたいと思います。
防災課防災担当係長	杉並区防災課です。よろしくお願いします。大変貴重なご意見ありがとうございます。 今現状、杉並区で対策といいますか、こういう改築のときに出している基準といいますか、そういうものについてご説明させていただきます。 まず、1番の井草拠点からのアクセスですが、できれば、確かに物資の輸送等で大きめの車もありますので、できるのであればこういったことを考えていきたいなとは思っております。

	2つ目の調理室の防災機能強化が、現状は震災救援所で調理室というのは今のところ使用する想定はなくて、アルファ米とかのお湯や温めたものを使う場合は、ガスコンロとガスボンベを備蓄しておりますので、現状はそちらを使ってお湯を炊き出しして使用していく形を取っております。 また、今月、日本キッチンカー経営審議会と協定を結びまして、災害時におきまして、避難所、あとは避難所が開設できない場所について、温かい食事を提供できるように協定を結ばせていただきましたので、そちらのご協力も仰いでいく予定としております。 3つ目の電力は、各震災救援所に、72 時間容量をもつように非常用発電機の設置をしていく考えでおります。こちらは、主要な避難所の場所、体育館と本部、あとトイレとか、そちらのほうに、72 時間もつように照明設備、あとコンセント、そちらの電力が行き渡るように要望をしております。 また、太陽光発電設備も、こちらは環境基本計画でも整備することになっておりますので、こちらのほうも太陽光設備と蓄電池のセットで設置を考えております。 あと、最後の生活用水は、私もこの中水装置というのを初めてお聞きしたのですけれども、今のところ学校のトイレの水ですと、直結の下水方式を考えておりまして、そちらを予定しております。 また、生活用水については防災井戸を設置して、あと応急給水栓を設置しますので、スタンドパイプを使って飲料水の確保と、生活用水、そちらで準備する予定としております。 あと、マンホールトイレは 10 基予定しております。車椅子などで使える広めのマンホールトイレ 2 基と、残り 8 基は通常の大きさのマンホールトイレを要望する予定でおります。 防災課からは以上となります。
進行役	今の防災課の説明も併せて、何かご質問やご意見はございますでしょうか。 委員、どうぞ。
委員	ご説明いただきありがとうございます。杉並区さんの地域防災計画等々よく読ませていただいておりますので、ご準備いただいている、あとご計画されていることもある程度分かっておりますけれども、私どもの学会でもそうですが、被災地、被災直後の避難生活の状況、最近ですと能登半島のこともございますが、まだまだ改善の余地が非常にありまし

	て、特にこの学校の場合は環境的に、道路のこともございますし、なかなか計画どおりには行かないのではないかという懸念をすごく強くしております。 それから、協定を結んでいращやるというのももちろん分かるのですけれども、これは約束でございまして、努力目標ということになりますので、それがどのぐらい安心材料になるかというのは、ふたを開けてみないと分からないところがございます。 私が今書いた案というのはもちろん、ちょっと理想のところがございまして、何しろ資金的にも難しい点がございます。ですので、これはスーパーエコスクールとか、そういう認定を受けたりすると道が開けてくるという面もございしますが、極めて有効な、先進的な考え方ではないかと思っていますので、できましたらよく検討いただいて、現状ではなかなか安心できないところがございますので、できましたらよくよくご検討いただけないかと思います。 以上です。
進行役	そのほかご意見等はございますでしょうか。 それでは、委員お願いします。
委員	どうもありがとうございます。お二人の応答を聞いておりますと非常に面白いポイントが出てくるのですが、要するに被災時の対応として、できるだけ自立度を高めておくということだろうと思うのです、可能であれば。 まさに外からの応援面で、なにしろアクセス道路自体が決壊していたり、補給面が思うにまかせないなどの状況も考えられ、供給能力はすごく下がると思われるので、可能であれば、この天中だったら天中で、今整備できる限りで、そこでコストがかかるという話も出てくるかもしれませんが、ポイントは自立度をできるだけ高めていくということではないかと思います。 以上であります。
進行役	ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。 委員から防災についての部分での視点について、こういうことを盛り込んでおけばいいのではないかというご提案がありました。 区としての全体としての部分と、また、天沼中のこの地域性ということも考えた上で、ぜひ検討していただきたいという皆さんのご意見もありましたので、ぜひよろしくお願いいたします。

	それでは続いて、次第４の「改築基本方針（たたき台）からの修正について」ということで、事務局からご説明をお願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	そうしましたら資料４、基本方針の修正案を御覧いただきたいと思います。 全体的には文言の整理を行っております。具体的な部分に触れていきたいと思うのですが、まず、取組Ｃでございます。天沼中学校は部活動が盛んであるとお聞きしておりますので、こちらの項目については校庭環境に寄せた記載にしてみました。 取組Ｄでございますけれども、学校としての施設活用に寄せて、取組Ｅのほうに別の用途への転用、今後の展望みたいなところ、そういったところに文言をそれぞれ寄せて整理をしたところでございます。 取組Ｇでございますけれども、文章がややくどいかなという部分がありましたので、そこを削除しております。 取組Ｈでございますけれども、こちらにつきましては、自然の力を感じるということというのは生活環境に限ることではない、ほかのアイデアもあるのかなという、そういった可能性も考えますと、生活空間というところは要らないかなと思ひまして、削除しました。 それと、取組Ｉでございますけれども、「緑豊かな環境教育を行える」という部分が、私が言うのも変ですけれども、日本語的におかしいなと思ひましたので、削除しまして、「周辺環境と調和」と整理をいたしました。 それと、取組Ｊでございますけれども、「集い過ごせるスペース」というところを削除しています。「集い過ごせるスペース」というのが、以前資料をお示ししました、7,500 平米という標準面積があるのですが、その内訳に入っていないので、この要素を入れてしまうとほかの教室とかを圧迫してしまうということも考えられますから、ここについては言葉を入れ替えて「空間の創造」としてみました。 それと取組Ｋでございます。これは「さざんかステップアップ教室」の整備についての記載でございますけれども、配慮すべき安心というのは心理的な部分だけではないのではないかと思いますと思ひまして、シンプルに、「利用者が安心して通える『さざんかステップアップ教室』の整備」としてございます。 そのほか、取組Ｎも「コミュニティの核」を削除しまして、「地域の活動拠点」と文言を修正してございます。 取組Ｑでございますけれども、災害に強いのは設備だけではなくて、施

	設が強いことも重要だと思いましたので、文言の途中、設備というところを削除しました。 それと、目標Ⅶも文言を修正したところでございます。 文言の修正については以上で、あと、前回の懇談会のときに学識の委員からご指摘がありました、区の計画との関連につきまして述べさせていただきます。 「杉並区教育ビジョン 2022 推進計画」というのがございます。こちらと、改築基本方針のこの目標とを見比べてみました。 まず、資料がなくてごめんなさい。推進計画の中に「区立学校の増改築」という項目がありまして、その中には、「子どもたちにとって安全・安心な施設環境を確保し、教育環境や将来の学級数の変化に対して柔軟に対応可能な施設整備を進めます。また、児童・生徒だけではなく『学びのプラットフォーム』として地域住民の活動の場となるよう機能を充実させるとともに、災害時の拠点として整備も行います」というくだりがあります。「児童・生徒だけでなく地域にとって、省エネをはじめとする環境意識の向上が図られるよう、学校設備の整備も進めていきます」というところもあります。 これらの文言と、例えば目標Ⅰ、目標Ⅱ、目標Ⅳ、目標Ⅵや目標Ⅶといったところの関連が記載されてございます。 また、目標Ⅴについては、「さざんかステップアップ教室」の整備が取組としてございますけれども、こちらについては、計画で言いますと、「不登校児童・生徒の支援体制の整備」という項目があります。 そのほか、「部活動の充実」「地域と共にある学校づくりの充実」「地域と学校の協働活動の充実」「学校施設の有効活用の推進」といった項目がありまして、それぞれの項目、私どものこの基本方針案の中の目標につながる部分は、基本的には計画の中にも盛り込まれている。逆に、計画に盛り込まれている内容は、なるべく目標や取組とつながるように記載をしたというところでございます。そんな考えで整理をしました。 基本方針の修正案は、そういった部分を見て、改めて見直したところでございます 私の修正案の説明は以上でございます。
進行役	それでは、ここまでのところにつきまして、何かご意見等、修正案についてございますでしょうか。いかがですか。特にございませんか。 私としてはこの修正案について特に大きく何かというところはないのですが、学校長としては、中学校という建物が、先ほどの3階

	までしか建たないという悲しい現実を突きつけられると、スペース等のせめぎ合いとなっていたときに、ある意味、箱として教室があって、箱としてそういう特別教室があって、生徒が授業して、ということを学校として創造していくことは全然簡単にできるのですが、ただ、中学校はどうしても地域の方から少し離れがちになってしまう部分があったりするというところから、地域の方も学校に思いを寄せていただきながら、いろいろ活用していただいてというところはどういった形でスペースや、予算や、というところになってくると難しいなと思って、何もしゃべれなくなってしまうというところがあります。 ただ、私の願いとしては、生徒が生き生きと活動し、そして地域の皆様に温かく見守られながら育っていくことができる校舎になっていけばいいなと思っておりますので、ぜひ、この後もよろしくお願いいたします。 それでは、この後ワークショップに入っていきますので、また改築基本方針についての変更等、ワークショップの意見とかも踏まえて修正が行われると思いますので、よろしくお願いいたします。 それでは、ワークショップを始めていきたいと思っておりますので、進行は事務局のほうにお願いいたします。それでは事務局、よろしくお願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	それでは、この後の進行は私のほうで進めさせていただきたいと思えます。校長先生、ぜひ席を移っていただきまして、委員の一員として、ぜひ意見を頂きたいと思えます。 ワークショップは既にやったことがある、経験したこともあるという方もいらっしゃると思いますし、初めてという方ももしかしたらいらっしゃるかもしれません。 今回やる目的でございますけれども、テーマを2つ設けております。 1つは「自分が生徒（児童）だったら、どのような学校に通いたいか」。それともう1つが「地域が求めるこれからの学校」、この2つを設けております。 今回、この2つのテーマにつきまして、委員個人の考えをぜひアイデア出しをしまして、他の委員と意見交換していただきまして、その想像を広げていただきたいと思っております。それらが改築基本方針や校舎の配置計画、平面計画にも反映できれば、よりすばらしいなと思っております。 ゴールとしましては、皆様の意見、アイデアを、多様な考えというの

	をまずこの場では共有をしたいと思っております。 ワークショップを進める上で、共通してルールを一応設定させていただきたいと思います。 建設的な意見交換をしたいと思っていますので、まず、他者の意見を否定しない。「いいね」というふうにしていきたいなと。 あとは、一人一人の発言を尊重していただきたいと思います。 それと、いろいろな立場の方がいらっしゃいますので、ここで話したことはここだけの話、ほかでは話さないと。あの人はこんな意見を言っていた、というのは言わない、ここだけの話としていただきたいと思います。 質問はオーケーです。先ほど「意見は否定しない」と言いましたけれども、質問はオーケーですので、そこは区別いただきたいと思います。 それと、失敗を恐れず、ためらわずに発言をしていただきたいと思います。 限られた時間になりますので、ほかの方の時間を尊重してください。時間を独占しない、というところでございます。 これまでを共通したルールとしていきたいと思います。 ワークショップの進め方でございますけれども、まず、個人ワークとして、ご自身が考える意見、アイデアというのをを出していただきたいと思います。個人ワークとして5分間設けたいと思います。 テーマ1の「どのような学校に通いたいか」というテーマでございませうけれども、こちらにつきましては、ヒントとして、校舎についてとか、先生との関係、休み時間の過ごし方、こういうところについて、「〇〇だったらいいな」みたいな願望ベースでお書きいただけるといいなと思います。 アイデアは1人2個までに制限させてください。たくさん出る方もいらっしゃると思いますが、その中でも選りすぐって2個選んでいただきたいと思います。 それでは、早速個人ワークを始めたいと思います。個人ワークの時間5分間です。メモできるものがたくさんあります。A4用紙を使っていたり、小さい付箋用紙を使っていただいても結構でございます。 選んでもらった2つの案につきましては、テーブルの真ん中にある黄色い大きめの付箋があります。こちらに書いていただきたいと思います。 それでは、5分間、個人ワークを始めたいと思います。どうぞよろし
--	--

	くお願いいたします。
	(テーマ1 個人ワーク)
教育施設計画 推進担当係長	では、一旦時間になりました。いかがでしょうか。 次のところの説明をしながら、書いている途中の方は書いていただきたいと思います。 次はブレインストーミングといいまして、それぞれ皆さんに出していただいた意見を発表していただきたいと思います。その発表について、さらによくなるような意見というのをぜひ話し合っていたいただきたいと思います。そのアイデアに便乗するような、さらにブラッシュアップできるようなアイデアがあれば、また付箋紙、ちょっと小さめの付箋紙に追記をしてもらって、そのアイデアの近くに貼っていただきたいと思います。 こちらの進行は各班にお願いしたいと思っております。ファシリテーターという言い方をしていますけれども、こちらを決めたいと思います。私が決めるのはあれなので、先生、何かいいアイデアありますか。
委員	各グループでこれから 15 分ブレインストーミングをしていただきます。この 15 分は、「私こんなことを考えました」というものを同じグループの方にお伝えください。グループのほかのメンバーの方は、「あ、それいいね」とか「そうだね」の言葉掛けから進めてください。「でも」「しかし」という否定は、自分の安全を生みますが、グループとしては何も生みだしませんので、「いいね」「そうだね」から進めてコメントしてください。それを全員が理解していればファシリテーターは要らないのですが、一応、進行役として「どうですか」とお聞きする役は必要かと思います。 では、各グループでファシリテーターを 1 人決めます。今日、グループの中で一番明るい服を着ている方です。その方が今日のそのグループの進行役です。話を振ってください。よろしいでしょうか。 では、今から 15 分間、自分たちの意見、「こんなこと考えたよ」「それいいね」みたいなところで、「もっとよくするにはどうしたらいいのか」という意見を出し合ってみてください。では、15 分間よろしくお願いいたします。
	(テーマ1 ブレインストーミング)
教育施設計画 推進担当係長	では、時間となりました。盛り上がっているところだとは思いますが、一旦テーマ 1 についてはここまでにしたいと思います。 この後発表と思ったのですが、時間の都合で、先にテーマ 2 に

	移りたいと思います。テーマ2をやって、最後に共有の時間というふう に組み替えさせていただきたいと思います。 今、1枚目の模造紙と、その下に白紙の模造紙が隠れておりますので、 上下を入れ替えていただきまして。手を切らないように、指を切らない ようにお気をつけ下さいませ。 上下入れ替え終わりましたでしょうか。 それでは、2つ目のテーマ、「地域が求めるこれからの学校」。「地域」 と言っていますけれども、大人とか自分が、という立場で考えていただ いてもいいかなと思います。 それでは、先ほどと同様に、1枚につき1つアイデアを。 それでは個人ワークの時間5分間始めたいと思います。では、始めて ください。お願いします。
	(テーマ2 個人ワーク)
教育施設計画 推進担当係長	では、時間になりました。皆様よろしいでしょうか。 それでは、グループでまた話し合いをしていただきたいと思います、 ファシリテーターをちょっとまた……。
委員	先ほど司会していただいた方がいらっしゃったと思います。お疲れさ までした。次も、同じ方では大変なので、先ほどファシリテーションを した方の正面に座っている方が次のファシリテーターでございます。ど う進めるかは先ほどの流れを見ていて分かるかと思います。残り時間を 提示しておりますので、この時間を気にしつつ進めていただければと思 います。よろしいでしょうか。 では、今からまた15分間よろしくお願いします。
	(テーマ2 ブレインストーミング)
教育施設計画 推進担当係長	では、時間になりましたので、手を止めていただきたいと思います。 どうもありがとうございました。 それでは、各班で出たアイデアをぜひ皆さんに、ほかの班に分かるよ うに発表していただきたいと思います。時間が限られるので、1 班大体2分ぐらいでお話しいただきたいと思います。どんな意見が出た かというところで、では発表者は……。
委員	杉並区のイメージカラーは皆さんご存じですね。発表者は、今、そ のグループで「緑」のものを持っている方です。今までファシリテーシ ョンをしていない方で、「緑」を持っている方です。 よろしいでしょうか。では、そのファシリテーションしていない緑を 持っている方が各グループのまとめや、どんな話をされたかというのを

	2分程度でお話してください。よろしくお願いします。
教育施設計画 推進担当係長	では、1班からお願いしたいと思います。
委員	1班では、テーマ1からでいいですかね。どんな学校がいいかということで、子どもたち、どんなタイプの子どもも、それぞれほっとできる学校ということ。いろいろな子どもたちの好きなことをかなえられるような学校。管理を主にする設計ではなくて、自由なスペースを設けるということ。あと、おいしい給食をつくってもらえる学校。あと、自然が大事だねという、季節を感じられる植物の配置というのはとても重要だろうというお話をしています。 テーマ2については、学校だけでなく、有効活用していくことが必要だということで、地域と共存、助け合える、温かく信頼される学校、防災拠点として自立度の高い学校。施設の有効活用については、夜間も含めて、あと、スポーツセンターとか、あと、いろいろな方が腰をかけて学校の様子も見られるような、そんな場所もあったらいいなというお話が出ています。
教育施設計画 推進担当係長	1班の皆さん、ありがとうございました。 続いて、2班。
委員	2班の発表です。まず1つ目の、自分が生徒だったらどのような学校に通いたいかというところですけども、2班では3つ話が出まして、職員室のそばに子どもたちが集えるスペースのある学校がいいなというお話が出ました。先生も生徒も自然と交流が生み出されるような形で、いろいろな、今いじめとかもあると思うのですけれども、先生たちがぱっと見て、「何か雰囲気がおかしいな」と察知できるようであったり、子どもたちも先生に気軽に相談できるような形で、職員室のそばに、優しい集える場所があるといいなと思いました。 あと、よく出たのは図書館の充実です。おしゃれな図書館で、そして自分の時間もきちんと持てるように自習スペースがあったり、子どもたちがまたそこにも集えるようなスペースがあるといいなというお話が出ました。職員室のそばに図書室があるのも面白いよねというお話もありました。 また、体育館とかではなく、多目的スペースのような形で100人程度、一学年が集まれる程度のスペースが持てると活用できるのではないかなと。そこで一緒に給食を食べたり、いろいろな活用が考えられると思いました。

	次に、地域が求めるこれからの学校についてですけれども、まず1つ目は、図書室が土日に開放されるなど、例えばあと、イベント授業を、そういったものに地域の人も参加できるような、安全を確保しながらそれが実施できるような、そういう学校であつたらいいなと思いました。 そのほかは、災害のときなどを考えますと、それでも学校運営、生徒たちが学校の授業をきちっと行えるような線引きが、区別というか、あるような学校がいいなというお話になりました。 あと、地域との関わりの中では、中学校を卒業した後も、高校、大学、大人になっても関わり合えるような、そういった学校がいいなというお話が出ました。学校行事の参加等でそれが実現するとすばらしいと思っております。もちろん安全確保が一番の課題かと思っております。 以上です。
教育施設計画 推進担当係長	どうもありがとうございました。 続いて、3班お願いいたします。
教育相談担当 課長	3班の報告をさせていただきます。 テーマ1は、出た意見をば一つとお話しさせていただきます。まずはやっぱり充実した設備だとか、安心安全な場所とか、あとは、学食があったり、大きな水槽があつてみんなが集まるといいよねとか、ランチルームもそうですし、教室の移動がスムーズにできるといいのではないかと。あとは、緑に包まれた学校になつてほしいなとか、本がたくさんあるような図書館があるといいなということで、すごく皆さんで、こんな学校が本当にあつたらいいなという話がたくさんできました。 テーマ2については、今をすごく大事にしなければいけないのですが、今後生徒が減るだとか、用途が変わってくる、社会のニーズが変わってくるといういろいろなことを考えると、今ある目の前のことだけではなくて、ほかの区の施設との連携だとか、この先を見通した中長期的な考えを持った施設というのを考えていかなければいけないよねというご意見ですとか、あとは卒業後も気軽に戻ってこられる学校、そんな場所があつたらいいなと。あとは、地域の方もふらっと立ち寄れるような学校があるといいよなとか、あとは、その1つの要因として、施設・設備が借りやすかったりとか、あとは、何か外部の組織が学校の中に入ることによって意図的に地域とのつながりというのが推進できるような形も1つ、方法としてあるのではないかというお話が出ました。 本当にこんなふうにできたらいいいなという聞いていて楽しいお話がたくさんあったのですが、目の前のことだけではなくて、時間のつなが

	りですとか、施設間のつながり、全体的な関わり、つながりの中で、その中にあってこの天沼中学校をどうしていくかと広く考えていく必要が本当にあるのだなというのを、今回のこの3班のお話を聞いていて改めて感じたところです。 3班の発表は以上です。
教育施設計画 推進担当係長	3班の皆さん、ありがとうございました。 では最後に、4班お願いいたします。
委員	我がグループは5人が大体同じ方向を向いているという、非常にまとめやすいグループだったと思います。 第1のテーマについては、子どもたちの居場所、自由に過ごせる居場所をつくりたいということで、大半の意見は、校内に、最低でもこの視聴覚室ぐらいの広さの空間が欲しい。ここは何をするかという、授業が終わった生徒が我先にここへ飛んできて、いろいろな人と話す。 それから、その中では、先生とも話したいというご意見もありました。今の天中は、職員室に気軽に生徒が入っていくのですか、分かりませんが、先生ともそこで話したいという意味で、こういう広場が、なるべく理想的にはどの教室からもアクセスしやすいような、中心にあるような広場が欲しいなというのは大きな意見でした。 それから、変わった意見としては、屋外にくつろげるスペースとかベンチがあると、木陰がある必要があるのですけれども、そこにベンチがあると、今、天中に廊下にベンチがあるのです。これでみんなしゃべっている、このベンチはどこかにつくるべきだなということで、案が出ました。 2番目の案については、これも大体集中していて、地域が求める機能としては防災拠点ということで、天沼はご存じのとおり、今、天小は相当頑張っていますが、旧若杉もなくなってしまうので、この天中の役割はすごく大事な、ぜひ防災拠点として、今も講義がありましたような要点も含めながら、しっかりした防災拠点をつくってほしいということだったと思います。 変わった意見としては、これは概念的ですが、親が我が子に天中を卒業させたいというイメージを持たれるような施設になってほしいなど。 それからもう1つは、地域のイベントをなるべくこの天中でやってほしいということで、そんな活用できる機能を持った学校にしてほしいという意見があったと思います。

	以上です。
教育施設計画推進担当係長	どうもありがとうございました。貴重な意見をありがとうございます。なかなか行政だけで考えていても思いつかない部分もあるかなと思いました。大変ありがとうございます。 では、行政のほうを代表して課長、簡単にコメントを頂いてもいいですか。
学校整備課長	様々なご意見をありがとうございます。私も1班のほうに参加させていただいたのですけれども、子どもたちの視点ということで言うと、居場所になるような、場合によっては1人になれるとか、ほかの人とも交流できるような、そういう場所は、意外と学校に、今まで計画して確かならなかったなというところも改めて感じましたし、あとは人たちが集える場所というところが様々共通的に意見が出ていたと思うのですけれども、具体的にこの中で出たアイデアとしては、例えば和室的な空間があってもいいのではないかと、あとはダンスですとか、そういう集えるような何か仕掛けをつくることできっかけになったりとか、そういうことで皆さんが集えるようになると自然と交流も生まれるのではないかと、そんな具体的なアイデアも頂いたかなと思っています。 今日、設計のほうも来て、皆さんのご意見を伺って、インスピレーションを我々も得られたかなと思いますので、今日こういう場を設けさせていただいたのも、なかなかこれまで、さざんかの話もいろいろありましたけれども、学校として本当にどうしていくのかというところですか、天中らしさというところをどうやってさらに伸ばしていくか、そういったところを少しご意見を伺えればと思っていましたので、本当に大変いい機会になったかなと思います。どうもありがとうございます。
教育施設計画推進担当係長	では、先生からもコメントを頂きたいと思います。
委員	皆さん、ご相談ありがとうございました。このワークショップの進め方について、幾つか事務局に提案させていただきました。 それといいますのも、昨年までにはCSだったり、生徒からの意見を吸い上げて、こんな学校にしてほしいというのは既にいろいろと承っておりまして。しかし、まだその時点ではすこし現実感がない理想という形でいろいろと意見を承っていたところだと思います。 でも、今ここに参加されている皆さんは、ある程度現実を知り、「もっとこうなってほしい」というのを理解している状況で、これらのアイデア出していただいたということが大事だと思います。そのため、このよ

	うな機会を設定させていただいた次第でございます。 それぞれの班ごとで出された意見ですけれども、よくあるワークショップだと、各グループの模造紙に書かれた内容を見せて、「私たちのグループこうなりました」とつたえるようなところがあると思います。しかし、そのようにしても相手のグループの内容すべて見えませんよね。 この後、それぞれの模造紙や付箋紙をそのまま置かせていただきますので、ほかの班はどんな意見が出ているのだろうというのを、より確認できる時間にもしていただきたいなと思っております。 さらにこれは事務局でまとめて、今後のグランドデザインに組み入れたり、特に今日大事なのは設計事務所の方々が来られて、生の声を皆さんから集めておりましたので、あとはそこにどう期待するかというところになります。ぜひよろしくお願いいたします。 今日皆さんが出された意見、そこに書かれた意見は吸い上げて、少しでも反映できるよう進めていただきたいと思います。もちろん全ての意見ではないと思いますが、広さや、予算、その他のいろいろな制限がございます。それでも今回の意見を吸い上げていただき、すこしでもプラスになる、子どもたちにも地域のためにもなるような学校づくりにしていただければと願っております。大事なご意見、ありがとうございました。またほかの班のご意見も確認してみただければなと思っております。ありがとうございました。
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございました。それでは、ワークショップは一旦これで終了とさせていただきますと思います。 それでは、進行を改めて校長先生にお願いをしまして。この場で申し訳ありません。
進行役	ということで、今日の全体が以上で終わりなのですけれども、先ほど先生からコメントを頂いたばかりなのに、先生から今日の講評をもらえという指示になっておりますけれども、よろしいですか。 全体を通してのところでということで、先ほどはワークショップだったと思うのですが、今日の全体のところで先生からご講評をお願いいたします。
委員	講評はございません。ありませんというよりも、もう私がまとめるより、各グループで出た意見がそのままのこの会の成果かなと思います。繰り返しになりますけれども、それらの意見は全て吸い上げて、少しでも反映できるように、全体として事務局も動いていくと思いますので、また次回の５回目の会議もよろしくお願いいたします。

進行役	どうもありがとうございます。 予定した議事は以上になりますので、続いて事務局から諸連絡をよろしくお願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	3点ございます。1点目は、毎回でございますけれども、感想シートです。感想のほか、本日十分に発言できなかったアイデア等もありましたらそちらにご記入いただきまして、事務局の職員にお渡しいただければと思います。本日提出できないという方につきましては、返信用封筒をお渡ししますので、職員にお声かけください。 2点目でございます。本日の会議録につきましては、約1か月後を目途に皆様に案をお送りいたしますので、ご確認をお願いいたします。修正の必要がありましたらご連絡いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。 3点目でございます。次回の日程でございます。次回第5回は、9月2日火曜日、午後2時から。会場は今日と同じ視聴覚室でございます。9月2日午後2時から視聴覚室で開催いたします。 また、それ以降も、第6回以降の日程については現在調整中でございますので、決まりましたら皆様にメール等でまずお知らせしたいと思っておりますので、ご協力いただきたいと思います。事務局からは以上でございます。
進行役	ありがとうございました。それでは最後に、学校整備・支援担当部長からご挨拶をお願いしたいと思います。
学校整備・支援 担当部長	本日はどうもありがとうございました。先ほどの課長のコメント、また先生からもあったとおり、今回のこのワークショップ、非常にいい試みだったと思っています。それをいかに今後の方針なり改築の議論に生かしていくのが大切と思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。 現在、いろいろな学校の改築懇談会をやっている中で、同じような意見が出てきますが、天沼中で出てきた意見を、この天沼中らしさにかに生かしていくのが大切と思っております。今後とも皆さま方の議論を大切にしながら、試みを進めていきたいと思っております。今後ともぜひよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。
進行役	ありがとうございました。それでは、以上をもちまして第4回天沼中学校校舎改築検討懇談会を閉会いたします。どうもありがとうございました。